

お知らせ

ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ 気軽に始めよう！社会貢献



「ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ（以下とちぎハウス）」は病気の子どもと付き添い家族のための滞在施設です。自治医大とちぎ子ども医療センターの直ぐそば、自治医大2号館の3階に2006年9月にオープンしました。部屋数は7室ですが、現在まで延べ900家族が利用しています。北は北海道、南は宮崎県や鹿児島県からもご家族が栃木にいらっしゃいます。

ハウスは営利目的ではなく、ご家族は1泊1,000円でハウスを利用することが出来ます。その運営費は個人や企業の寄付や募金で賄われています。ハウスのコンセプトは「home away from home（我が家のようにくつろげる第2の家）」で、経済的負担が少ないだけでなく、精神的なサポートもしています。ボランティアさんがハウスで活動してくださり、ご家族へ「行ってらっしゃい。」「お帰りなさい。」と声をかけることでその優しさに大変励まされます。



入院中の子どもにとっては、家族が近くに滞在している安心感、週末には兄弟や、お父さんも泊まりに来たり、また患児の外泊施設としても機能しています。家庭的な雰囲気の中で家族同士の交流も見られます。ご家族はボランティア活動をみて「自分達が社会に支えられている。」と感じる機会にもなります。

1974年にアメリカ・フィラデルフィアに世界初のハウスが誕生して以来、2009年7月現在30カ国288ヶ所にハウスは開設されています。アメリカでは165ヶ所もあり、「小児病院の近くにはドナルド・マクドナルド・ハウスがある。」というのが常識になっており安心して病気の子どもたちとその家族が治療を受けることが出来るようになっていきます。

日本では2001年に「せたがやハウス」がオープンしてから仙台、高知、大阪、栃木、札幌と開設が続き、全国6ヶ所で運営されています。

ハウスは寄付と募金とボランティアで支えられています。全国のボランティアの総数は1,000人を超えて、とちぎハウスでも160名の方が活動されています。ハウスのボランティア活動は2週間に一回、3時間程度が目安。清掃活動が主な活動ですが、利用者へのハウスの案内、パソコン業務などもあります。誰でも出来るボランティア活動として17歳から上は70代の方までさまざまな年齢層の方がボランティアに参加されています。

また時間が取れない方もハウスのサポートをする方法があります。寄付金や物品の寄付、「はやく元気にな～れの会（年会員制でのハウスへのサポート活動）」などです。高額の寄付をされた方はハウスの玄関に永年で「感謝の樹」としてお名前を表示させていただいています。物品の寄付では食品（インスタント食品、紅茶、緑茶）や、文房具（コピー用紙、ボールペン）、アメニティグッズなど様々な生活用品を募集しています。

是非、気軽に社会貢献に参加してみませんか？ご連絡お待ちしております。

連絡先 ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ
〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3 自治医科大学2号館3階（内線7860）
Tel 0285-58-7551 Fax 0285-44-4154
e-mail dmh.tochigi@celery.ocn.ne.jp
URL <http://www.dmhcj.or.jp>